

2022度 光塩女子学院日野幼稚園 学校評価報告書

2023年 3月

(学) 光塩女子学園 光塩女子学院日野幼稚園

1. 本園の教育目標

- 一人ひとりが神様から与えられた大切な存在であることを知り、神様に守られていることに感謝する子ども
- 思いやりのある、素直であたたかい心の子ども
- 笑顔ですすんであいさつができる礼儀正しい子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画・実施した内容

<重点目標>

- ①カトリック幼稚園としての存在意義を深める。
- ②豊かな自然環境を活用した、光塩日野幼稚園でしか体験できないカリキュラムの実施。
- ③発達が緩やかな子どもへの対応を整える。
- ④保育内容の充実

<計画>

- ①カトリック幼稚園としての職員研修の実施、研修報告・発表と情報の共有。
- ②わくわくの森の利用計画策定、園児の成長に合わせて、様々な活動を実施。
親子で参加できるイベントの実施、環境整備。
- ③子ども一人ひとりの成長に沿った保育の実施。補佐職員や加配職員の配置。
- ④正課への英語クラスの導入

<実施した内容>

- ①カトリックのカリキュラム策定。光塩の二つの幼稚園での合同研修。シスターによる宗教クラス。
- ②山のカリキュラム作成・実施。親子イベントの実施。環境整備。
- ③満3歳・年少クラスへの補佐の職員配置、加配の職員採用。保護者との連携。
- ④年長・年中・年少の3学年で、外国人講師による英語クラスを実施

3. 評価項目に対する自己評価と取り組み状況、学校関係者評価

【評価点】 A=十分達成されている B=達成されている C=取り組まれているが、成果が十分でない D=取り組みが不十分である

評価項目	評価内容	自己評価		学校関係者評価	
		評価点	取り組み状況・反省・改善点等	評価点	意見等
1	①園の教育理念、教育目標に基づいて、保育の計画を立てているか ②指導計画は、幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるような、順応性のあるものになっているか	A	①年間・2カ月案・週案で、カリキュラムを作成し、計画的に保育を行っている。 ②子どもの成長に合わせ、必要に応じて、保育者同士で話し合いカリキュラムの見直し・修正を行っている。	A	年間でカリキュラムが生まれ、保育が計画的に行われている。カリキュラムの見直しや修正がきちんと行われている。指導のポイントや配慮すべき点が明確で、職員会で共通認識となっている。
2	①園全体として、個々の幼児の課題や発達について、保育者同士、情報を共有したり、家庭との連携がとれているか ②幼児にとって、安全で安心して過ごすことができる環境を整え、1人ひとりありのままの姿を受け入れ、適切なかわりができているか	A	①朝礼や会議で、その都度、子どもの様子など、全体に必要な情報を丁寧に共有している。 ②・クラス関係なく、保育者同士で協力・連携している。 ・加配が必要な幼児も含め、担任を中心に、一人ひとりにあった保育を行っている。 ・毎日登園時の検温や、朝・昼・降園前に体調を確認している。	A	保育者同士の連携、日野市発達・教育支援センターとの連携や、補助・加配の職員を適正に配置している。 子ども一人ひとりに丁寧に寄り添い、対応している。特に発達が緩やかな子どもに対して、その子どもの特性に合わせて指導している。 保護者の目から見てもクラス担任を特段意識しない、大きな家族の様な雰囲気幼稚園。体調を含め幼稚園で安全に過ごせるようにいつも見守っている。
3	①保育者としての在り方を理解し、幼児の成長を自分の喜びと感じながら保育ができているか ②教職員全員で一つのチームであることを自覚しているか	A	①・子どもの成長を第一に考えながら楽しんで保育を行っている。 ・子どもと保護者には、常に公平な対応をとっている。 ②教職員全員で共有して、幼稚園全体で子どもたちを見守っている。	A	子どもたち一人ひとりを大切に、保育者が生き生きと保育している。保育者同士が互いに尊重しあい、協力できている。 縦割りの活動に工夫があり、豊かに展開されている。職員の質の良い保育能力と、チーム全体の包括力が感じられる。課題として、業務分担の偏りの解消があげられる。
4	①保護者に対して、適切な情報発信・幼児の様子を伝える工夫をしているか ②保護者が相談しやすい環境を整えているか、また、相談や要望には丁寧にに対応しているか	A	①・HP・Instagramで定期的に園の情報を発信している。 ・毎月の園だよりや学期毎の学年だより、懇談会・保護者面談等で子どもの様子を伝えている。 ・出席カードには毎月担任から子どもに対してコメントしている。 ②・保護者の相談には連絡帳を活用し、必要に応じて電話や、個別面談をしている。 ・定期的に保護者アンケートを実施している。	A	電話対応や、面談・懇談会などを通して、子供の様子が適切に伝えられている。欠席連絡や預かり保育などの登録が、アプリとなり非常に便利。 課題として、ブログ・Instagramをこまめに配信できたらよい。

評価項目	評価内容	自己評価		学校関係者評価	
		評価点	取り組み状況・反省・改善点等	評価点	意見等
5	地域の自然や社会とのかかわり ①地域社会の中で、幼稚園として子育て支援などの役割・使命を果たしているか ②小学校と連携はできているか	B	①・在園児に向けては、預かり保育の充実や、満3歳児の新設など子育て支援を充実させている。 ・日野市から派遣される、臨床心理士による、保護者むけの子育て相談を実施している。 ・外部向けとして、園庭開放、室内開放を定期的実施している。 ・未就園児クラスは、親子でスクールバスを利用できる。 (課題) コロナの状況が変われば、今後、一般向けへの開放事業も検討したい。 ②・小学校から、就学前の聞き取りに対応している。また、指導要録を全園児分、小学校に送付している。 (課題) 地域の小学校と連携して、学校体験・見学の実施を検討したい。	B	預かり保育の充実や満3歳児クラスの新設など、社会のニーズに応えたシステムを構築している。 コロナ禍で制限がある中でも、できることがないか考え実行しようと努力していた。 自然との関りは、恵まれた環境をよく利用している。 課題として、地域の小学校体験、小学生との交流の実施や、地域施設への見学・体験などが再開できたらよい。
6	研修と研究 ①保育に活かすための研修・研究を行っているか ②自分の保育について、評価・反省を行っているか	B	①・日野市の研修への参加や、姉妹園と合同研修・交流研修を実施した。 ・コロナ禍で個別の研修参加が少なかったことなどから自己評価はB。 ②今年度実施した、自己評価・学校関係者評価を通して、自らの保育の振り返りを行った。	A	姉妹園との交流研修など、様々な研修を行っている。 自己評価・学校関係者評価を今年度から実施した。 内部外部の声に耳を傾けて、よりよい幼稚園を目指している。 課題として、地域小学校との幼小連携、小学校の教員と互いに、保育と授業を見合うことが出来たらよい。
7	幼稚園の特色・取り組み ①【カトリック幼稚園として】一人ひとりが、かけがえのない大切な存在であるという、カトリックの教えに基づいた保育が行われているか	A	①・朝の会・帰りの会、食事の前など日常にお祈りの時間を設けている。 ・マリア祭、七五三、クリスマス会などの宗教行事を実施している。 ・シスターによる宗教のクラスを実施した。 ・カトリックのカリキュラムを作成した。 (課題) 今後、宗教行事にも希望する保護者が参観できるよう検討する。	A	朝・昼・帰りの会で毎日お祈りをしている。メルセ会のシスターによるお話しを実施している。 動植物やあらゆる命に感謝し、大切に思う気持ちが育まれる。 課題としては、神父様の聖書クラスは、毎回出席できなくても気軽に参加できることを保護者に知らせる。
	②【豊かな自然環境】わくわくの森など、自然を活用した保育・行事が行われているか	A	②・山のカリキュラムを作成し、森での活動を保育の中で計画的に行った。 ・わくわくの森の自然を活用した保育・行事を実施した。 ・イベントでわくわくの森を保護者に開放した。 草刈りイベントとして保護者にも森の整備を手伝って貰った。	A	光塩日野幼稚園と子どもたちにとって、わくわくの森は財産。山から多くのことを教わり、それを家庭にもちかえってくる。 自然を活かした保育活動が充実している。 課題として、定期的に専門業者への委託や、保護者に協力してもらいながら、環境整備と維持を行っている。
	③【手作り給食・食育】給食や食育を通して、食に関する学びを子どもたちに伝えられているか	A	③・自園調理の給食を週4日提供。 管理栄養士を配置し、アレルギー対応も保護者と個別に面談している。 ・給食のメニューを充実させて、季節を感じられる献立としている。 ・園内の畑で野菜を育て、収穫した野菜を給食で食べたり、ピザ作りやじゃがバターなどの食育プログラムを実施した。 ・園内でとれる梅で作った梅ジュースや園内で採れたミカンをイベントで配った。	A	「給食が美味しい」は、子どもにとって一番の魅力。身体づくりに成果を上げているように感じる。管理栄養士による献立で、栄養面はもとより、季節の食材を取り入れた豊かなメニューとなっている。 自分たちで育てた野菜を給食で食べられるなど、幼児期における食育として素晴らしい取り組み。
	④【スクールバス】スクールバスを安全に運行できているか	A	④・今年度バスマニュアルの見直しを行い、バス運行時の安全対策を再度徹底した。 ・連絡アプリでバスの運行状況がリアルタイムで把握できるようにしている。	A	連絡アプリの活用や、バスマニュアルの整備など、保護者が安心できるシステムが整っている。 課題として、雨天で道路が混雑した場合などに、バスのダイヤが遅れることがある。

4. 総合的な評価結果

【評価点】 A=十分達成されている B=達成されている C=取り組まれているが、成果が十分でない D=取り組みが不十分である

評価	理由
A	幼稚園の特色の「カトリックの教育」「豊かな自然環境」「手作り給食」について高い評価を受けた。 時代にニーズに合わせて子育て支援の充実を図り、英語を導入するなど保育内容の充実を図った。 アプリの導入やバスマニュアルの作成・徹底など安全管理に配慮した。 カリキュラムに基づいて計画的な保育を行い、一人ひとりの成長に合わせた保育を行っている。 園児が安全に過ごし、のびやかに成長していけるよう、教職員全体で情報を共有し連携している。 コロナ禍で制限がある中でも、できる限り、以前と同じような対応を行った。 姉妹園と交流研修や合同研修を行い、互いの保育の見直しにつなげた。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
1 発達が遅やかな子どもへの対応を更に充実させる	・各学年への補助・加配職員の配置。 ・保護者、日野市発達・教育支援センターとの連携強化。 ・専門的な研修会の実施。
2 地域の小学校との連携、地域の施設との繋がり・地域社会への開放行事など	・地域の小学校体験、小学生との交流。 ・地域施設への見学・体験。 ・わくわくの森の保護者への開放、教会・ボーイスカウトとの交流。
3 情報発信の強化	・ブログ、Instagramの活性化。 ・幼稚園の様子を保護者・外部にわかりやすく伝える仕組みを整える。